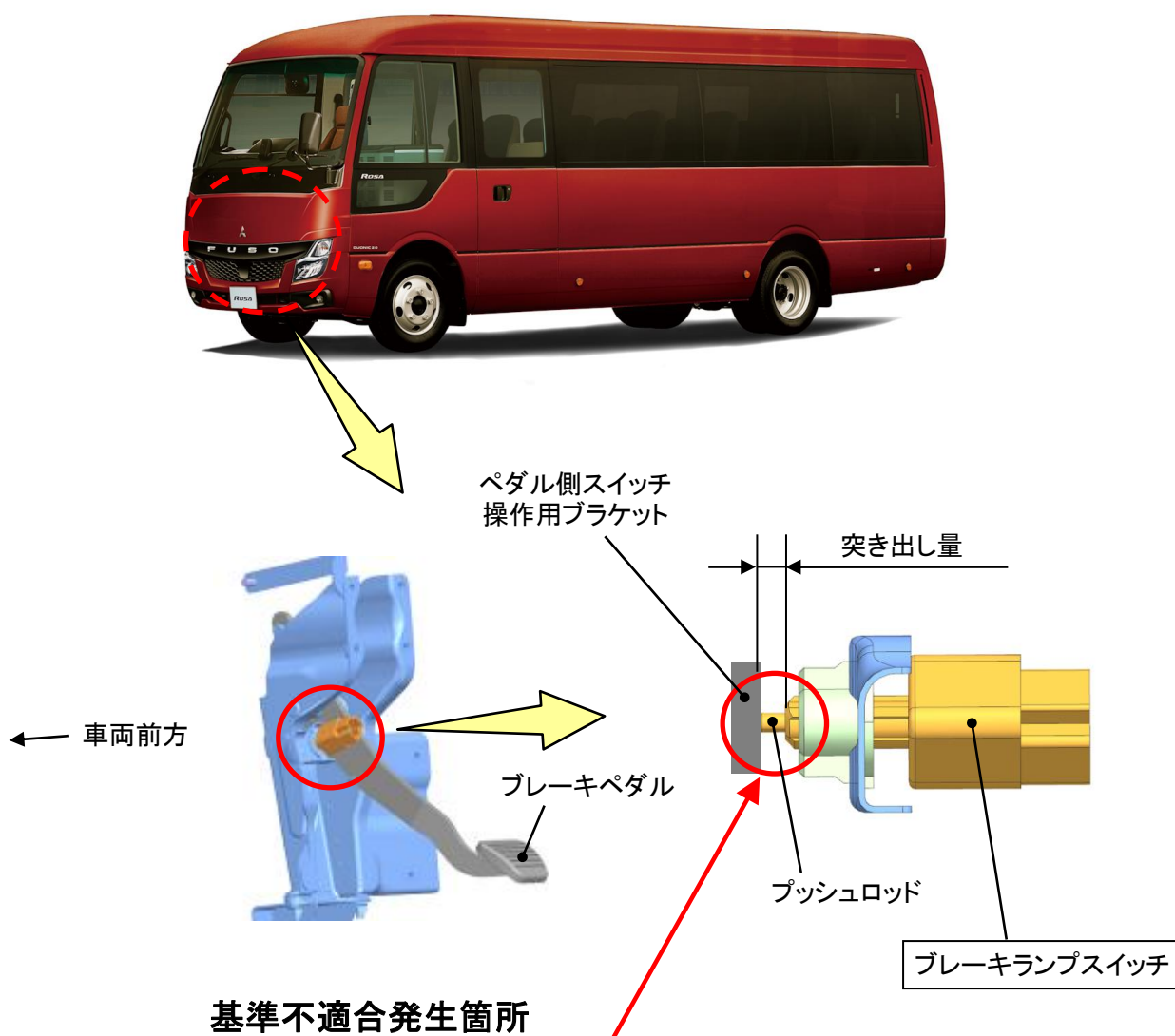


改善箇所説明図



小型バスのブレーキランプスイッチにおいて、組付時の指示に誤りがあったため、プッシュロッドの突き出し量が正規値以下で組付けられたものがある。そのため、ブレーキペダルの踏みこみ量が少ない場合に制動灯が点灯しないことがある。

また、坂道発進補助装置 (EZGO) 作動中に当該事象が発生した場合、ECU がシステム異常と誤判定することにより衝突被害軽減ブレーキ (AEBS) と車両挙動安定装置 (ASR) の機能が停止し、警告灯が点灯することがある。

改善措置の内容

全車両、ブレーキランプスイッチのプッシュロッド突き出し量を点検し、正規値を外れていた場合は正規値に調整する。

注 : ☐ は正規値に調整する部品を示す。

識別 : 作業完了車には、ブレーキランプスイッチに白色ペイントを塗布する。